

9月議会本会議質問(9月14日) わしの恵子議員

9月議会の個人質問でのわしの恵子議員の質問概要を紹介します。

敬老パス・30人学級・保育料などを見直してまで 金持ち・大企業減税をやるのか

大震災の時だからナゴヤで減税を？

市長は市民税減税の提案で「こういう時だからこそ、国の経済を復興させ、東北の人々を皆で応援する姿勢が必要であり、地方にあっては住民税を下げる方向に舵を切る勇気が求められている」と説明しました。

わしの恵子議員は「市長は減税は民意と強調しているが、東日本大震災を受け、防災対策への不安が大きくなっており、今の市民の願いは福祉防災の充実だ。そう思わないのか」と市長をたどしました。

金持ち減税の言い訳するより福祉防災を

市長は、金持ち減税について「税制改正で単一税率になったから」と言い訳し、自ら金持ち減税を認めています。わしの議員は「恩恵受けるのはほんの一部だ

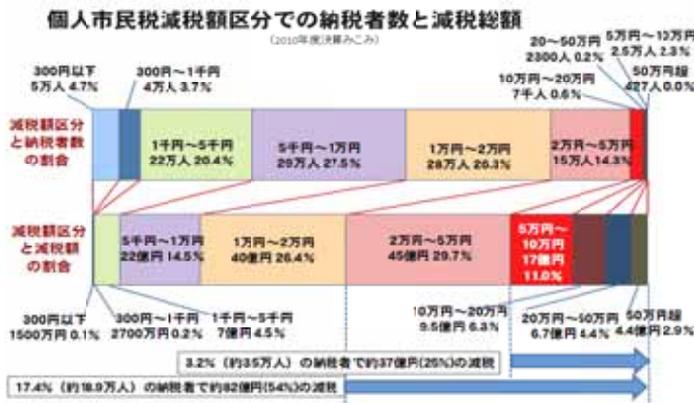
け。減税で家庭の可処分所得は増えていない。一部の福祉施策の拡充も減税の恩恵のない人だけが対象ではない。減税をやめて子ども医療費無料化の拡充ができた。遅かったくらいだ」と指摘し、「高すぎる国保料や介護保険料、保育料の値下げを」と求め、市長は「それも一つ」と答えました。



事業仕分けで福祉・教育を見直すのか

減税のためのさらなる行革を押し付けるものとして、10月に市民参加で事業仕分けが行われます。わしの議員は「事業仕分けで敬老パスなど市民の願いで拡充してきたものを見直そうとしている。減税財源のために福祉を切り捨てるのか」と追及しました。市長は「福祉を切り捨てる発想はない。改革は必要。みなさんの意見を聞き、よりいいものにしたい」と答えました。

わしの議員は、「福祉は切り捨てないというが、福祉にもムダがあるといって、児童養護施設への補助金を削ったり城西病院を売却したりした」と市長を批判し「減税より福祉防災のまちづくりが求められている。恒久減税のために福祉切り捨てをすることはやめよ」と厳しく批判しました。



原発から撤退し自然エネルギーへ 原発さよならナゴヤ宣言を

わしの議員は「住民の原発不安に答えることが必要」と、自ら地域で行った大気中の放射線量測定の結果を示しながら「市の環境科学研究所にモニタリングポストを配備して大気中の放射線量を測定し、職員がサーベイメータをもって測定に出かける」ことを求め、「原発さよならナゴヤ宣言(原発からの撤退をめざし、自然エネルギーへ転換する都市宣言)」を出すことを提案しました。



原発についての大議論を起こしたい(市長)

市長は「市民で大議論を起こしたい」と答え、環境局長は「モニタリングポストの設置や可搬式測定機の配置は検討したい」と答えました。

わしの事務所で測定した西区全学区の放射線量 (マイクロシーベルト)

学区	計測地	地上1m	地表面
南押切	中央公園	0.08～0.09	0.08～0.09
栄生	栄生公園	0.08～0.13	0.08～0.09
枇杷島	枇杷島公園	0.12～0.14	0.08～0.09
榎	榎公園	0.08～0.11	0.08～0.09
幅下	幅下公園	0.08～0.12	0.08～0.10
江西	新道中央公園	0.08～0.12	0.08～0.12
那古野	第三幼稚園	0.09～0.11	0.08～0.09
稲生	又穂団地	0.08～0.12	0.08～0.13
城西	花の木公園	0.03～0.11	0.08～0.09
児玉	浄心公園	0.09～0.11	0.09～0.13
上名古屋	上名古屋公園	0.08～0.11	0.08～0.10
庄内	新福寺公園	0.09～0.13	0.08～0.14
大野木	第三公園	0.08～0.11	0.08～0.10
比良	小学校	0.09～0.10	0.08～0.09
比良西	小学校	0.08～0.09	0.08～0.13
浮野	横井公園	0.10～0.13	0.08～0.12
平田	西原公園	0.08～0.10	0.11～0.13
中小田井	中小田井公園	0.09～0.10	0.08～0.10
山田	平塚公園	0.09～0.11	0.10～0.14